



あなたを待っている子どもたちのために

第8回 「子どもたちとの出会いに向けて ～プレゼミ閉講にあたって～」

令和5年3月8日（水）発行 仙台市教育委員会 教育センター 若手教員支援室

第8回プレゼミナール（最終回）を開催しました！

令和5年3月4日（土）仙台市教育センターを会場に令和4年度最終回となる第8回仙台市教員プレゼミナールを開催しました。今回は、「子供たちとの出会いに向けて ～プレゼミ閉講にあたって～」というテーマで、仙台市教育委員会及び小中学校の校長先生からメッセージが贈られました。その後、会場は8グループ、オンラインは2グループ、計10グループに分かれ同期の仲間との情報交換を行いました。参加者は、オンライン参加者を含め41名でした。

1 「4月1日着任に向けて①」

教職員課長が、これまでのプレゼミナールの成果等を振り返るとともに、受講者にメッセージを贈りました。島村教職員課長から、初任校でのエピソードも交えながら、「謙虚さ」、「ひたむきさ」を持ち続け、長い教員生活を歩んでほしいとのエールが贈られました。

2 「4月1日着任に向けて②」

小学校の校長先生及び中学校の校長先生から、受講者にメッセージが贈られました。はじめに、荒町小学校の田辺校長先生から、教員の意識に関する調査結果や文科省から示されている「教師に求められる資質能力」に触れながら、御自身の教員人生を振り返り、「教師はCreativeな仕事でなければ！」など大きく5つのことについてメッセージが贈られました。そして、最後に「教師の道は、深く降り積もった雪の上をわらじで一步一步歩くのと同じである。スニーカーで舗装された道を歩いたとしても深い足跡は残らない。」とのお話をいただきました。次に、袋原中学校の藤田校長先生からお話をいただきました。藤田校長先生からは、御自身の勤務校における特別支援学級在籍の生徒や3年生の生徒とのやりとりをとおした「魅力ある子どもたちの姿」を紹介していただき、教員のやりがいについてお話をいただきました。



島村 教職員課長



田辺 荒町小校長



藤田 袋原中校長

3 「同期の仲間との情報交換②」

着任に向けて、子どもたちとの出会いに向けての期待や不安について、プレゼミナールを終えての手応えや要望などについて、会場参加者は8グループ、オンライン参加者は2グループに分かれて語り合いました。最後に、いくつかのグループに話し合われた内容について発表してもらいました。プレゼミナールに参加して、一人一人が確かな手応えを感じていたようです。

<情報交換の様子>



<受講者の声>

- 私は、全8回すべて会場で参加したのですが、とても深い学びが得られたと思っております。保護者対応から学級経営について、先生としての在り方など幅広く学ぶことができ、少し不安が軽減されました。また、たくさんの現役の先生方にお会いして、「私も早く先生になりたいな」と思う事ができました。もちろん、これから悩むことも多いと思うし、不安なこと、壁にぶつかることもあると思いますが、このゼミナールのお陰で、より一層教員への良さ・魅力を感じました。個人的な話にはなりますが、私は小学生の頃から「先生になる」という夢がありました。その夢に少しずつ近づいていると思うと、少し不安もありながらワクワクしている自分もいます。今まで沢山の良い先生に出会えたこと、そして、ゼミナールで学んだことを生かして教員生活を充実させていければ良いなと思っております。ありがとうございました。
- プレゼミナールに参加したことで、採用からこの3月まで教員になるという意識を持ちながら過ごすことができたと思います。プレゼミナールに参加することで、同期の皆さんや教育センターの皆さんとお会いし、意見交流したり講話をしてくださったりしたことで顔の見える関係になれたこともとても嬉しかったです。不安はとても大きいのですが、プレゼミに参加することで少し先が見えたように思います。分かることが増えれば増えるほど不安も増えていきますが、それは自分が少しでも学校現場について知ることができたり、今後のことを考えていたりするからこそその不安なのだとな、先生方の話を聞いて思うこともできました。聞くだけではなく、実践や対話における学びも多く、自分自身が授業をする際にもこうした組み立てて授業をしていきたいなとも感じました。子どもの立場に立って、子どもの視点で共に学び合える、成長し合える教員になりたいです。最後に、全8回のプレゼミナールの企画、運営、準備等をしてくださった教育センターの皆様、並びにゲストティーチャーとして講話いただいた先生方に感謝申し上げます。いつも温かい雰囲気、参加しやすかったです。来年度は後輩の相談に積極的に乗ったり、時に助言をしたりと、私が今年度のプレゼミで感じることでできた教職の魅力や実際に伝えていきたいと思えます。ありがとうございました。今後どうぞよろしくお願いいたします。
- 私は、大学の中で仙台市を受験したのが一人だったため、教員採用試験に合格してからも不安を誰にも共感してもらえないだろうと1人で抱えていました。プレゼミナールも不安を少しでも軽減することや知り合いを作ることを目標に参加しました。全8回全て会場で参加させていただきましたが、毎回新しい同期と話すことができ、その場で不安を話し共感し合うことがとても私の中で大きな手ごたえでした。また、他にも、自分自身が小学生の時とICTなど大きく変わっているところもプレゼミナールに参加して使い方も知り、分からなくても教えてくれる人たちがいっぱいいるんだという安心感ももつことができました。教師経験のない新卒の私が、学校現場から必要とされているのかということも不安の1つではありましたが、第8回の校長先生方のお話や、教育委員会の先生方のお話を聞いて、また、同期ともその話をして、考えているばかりではなくて、新卒ならではの強みと謙虚さ、ひたむきさも忘れずに考えるよりもどんどん行動していこうと思えました。このように不安だけでなく、前向きにこれから頑張っていこうと思えたのもプレゼミナールに参加しての手ごたえです。全8回、本当にありがとうございました。

～ 4月、いよいよ子どもたちとの出会いです。最高の笑顔で子どもたちを迎えましょう！～

仙台市教育センターはOJTで学び続ける教職員（あなた）を応援します